碁点温泉

国民保養温泉地計画書

平成 29 年 9 月
環境省

－目　次－

１．温泉地の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

２．計画の基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1

３．自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策・2

４．医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の
配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の
配置計画若しくは育成方針等・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

５．温泉資源の保護に関する取組方針・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

６．温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策・・・・・・・・・・・・・5

７．温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策・・・・・・6

８．高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画・・・・・・・・・7

９．災害防止対策に係る計画及び措置・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

添付

１．碁点温泉位置図
２．碁点温泉地区域図

１．温泉地の概要

碁点温泉は、山形県の中央部村山盆地の北部に位置する村山市にあり、東に日本三大急流の一つである最上川が北流し、西に山岳信仰の対象であった霊峰葉山を擁する風光明媚な温泉地である。この温泉地の面積は 121.8ha（図上計測）であり、地名は最上川の難所と呼ばれる「三ヶ瀬」「隼」「碁点」のうち、温泉地内にある「碁点」に由来している。

2 つの源泉を持つ碁点温泉は、宿泊施設及び日帰り入浴施設に供給されており、源泉かけ流しの湯は「きりきず・やけど・慢性皮膚病」に効果があるとされ、地元住民はもとより遠方からの観光客にも親しまれ、多くの入湯客で賑わっている。

周辺には、日本有数の規模を誇る東沢バラ公園をはじめ、最上川周辺に立ち並ぶ蕎麦の名店を繋いだ「最上川三難所そば街道」、急流最上川を下る「最上川三難所舟下り」などがある。また、平成 28 年度に当該温泉地内に併設された「ＲＶパーク」では、全国各地から訪れた多くの方々が、碁点を一望できるロケーションとクアハウス碁点の露天風呂を楽しんでいる。

碁点温泉へは、国道 13 号からは車で約 10 分、国道 347 号からは車で約 5 分と交通アクセスが非常に良く立地的に大変恵まれている。さらには、現在、東北中央自動車道（東根～尾花沢間）の整備が早期開通に向けて順調に進んでおり、碁点温泉の近傍地に村山 IC（仮称）が設置される計画のため、今後、移動時間の短縮等による温泉利用者の増加が見込まれている。

２．計画の基本方針

碁点温泉は、開湯より一貫して温泉利用を核とした健康づくり・体力づくりに力を入れており、遊歩道や運動設備等の整備を行い、温泉を活用した先進的な療養・保養・健康増進を図ることができる温泉地を目指してきた。

今後も、以下の基本方針に基づき、自然環境を保全しつつ、特徴ある保養地を目指していく。

（１）恵まれた自然環境を保護し自然環境に調和した温泉施設の整備を進めることにより、保養地に相応した良好な環境づくりを行う。

（２）貴重な資源である温泉を保護し適正な利用を図るため、温泉の湧出量、温度、泉質の変化等に常時注意するとともに、温泉の健康増進への有効活用及び冷暖房設備等への有効利用を推進する。

（３）健康づくりと療養・保養を兼ねた温泉利用の場として整備を進め、公衆衛生の確保に努めるとともに歓楽化することを防止する。

３．自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の維持・保全等に関する方策

（１）自然環境、まちなみ、歴史、風土、文化等の概要

碁点温泉は、山形盆地北部を占める村山市の南部に位置し、その中ほどを最上川が貫流しており、変化に富んだ自然環境と雄大な眺望に恵まれている。

最上川は、球磨川（熊本県）・富士川（静岡県）と並び日本三大急流の１つに数えられており、山形県と福島県の県境にある西吾妻山を水源に、河口までの長さが 229km と全国で 7 番目の大河川で、1 県のみを流れる河川としては日本最長である。その最上川中流部に位置し、地名の由来となっている「碁点」は、碁石を並べたように岩が突起していることから呼ばれるようになり、「三ヶ瀬」「隼」とともに三難所として舟運に携わる者から恐れられた。そのため、当時の山形城主最上義光は、天正 8 年（1580 年）に三難所の開削工事を行い最上川舟運を発展させた経緯がある。

本温泉地は、その最上川の左岸に位置し、西側一帯のなだらかな丘陵地には、サクランボ・リンゴ・桃などの果樹園が広がり、新鮮な果物が豊富に享受できる。対岸は、全山赤松に覆われた山形県史跡指定の河島山（標高 194m）が川岸まで迫り、温泉地の南側には広大な田園風景が広がっており、恵まれた自然環境と併せ療養・保養に適した温泉地となっている。

また、気候は典型的な内陸性気候を示し、年平均気温は 11.7℃となっており、夏季・冬季の寒暖の差が大きく四季折々の雄大な自然を堪能できる地域である。

昭和 57 年に温泉を活用した健康増進施設としてクアハウス碁点が開業し、昭和 60 年に国民保養温泉地に指定された。また、温泉施設を中心に健康増進設備の整備が進められ、全国に先駆けた温泉地として市内外から大勢の方々で賑わい、平成 25 年には大浴場を全面改装し雄大な景色を一望できるよう露天風呂も併設したことにより、現在も多くの人で賑わっている。

碁点温泉周辺には、日本有数の規模を誇る東沢バラ公園があり、6 月から 10 月にかけて約 750 品種、2 万株余りの薔薇が咲き誇り甘い香りに包まれている。また、この東沢バラ公園は、全国香り百選に選ばれ、恋人の聖地の認定も受けており、さくらんぼ狩りの季節には多くの観光客で賑わっている。

また、居合の祖とされる林崎甚助重信が祀られ、日本に一社のみ存在する居合神社があり、碁点温泉地にて毎年 6 月下旬に開催されている「全国各流居合道さくらんぼ大会」には多くの剣客達が集まり賑わいを見せている。さらに、8 月下旬には、北方探険の先覚者「最上徳内」にゆかりを持つ囃子の音色に乗って躍動的な演舞が披露される「むらやま徳内まつり」も活気盛んな賑わいをみせている。

（２）取組の状況

碁点温泉は、昭和 57 年の開湯以来、地域のシンボルとして地域住民から親しまれており、行政と住民が協力し温泉周辺の幹線道路等の美化活動やバラの植栽活動が現

在まで継続して行われている。

また、碁点温泉では、毎年開催されている「全国各流居合道さくらんぼ大会」を始め「最上川 S-mile マラソン」などの各種イベントや大会が開催されており、市外から来訪する方も多く、指定管理者・行政が適宜、河川清掃や公共施設の補修等を実施し、豊かな自然を守っていくため景観に配慮した施設整備や環境づくりを行っている。

（3）今後の取組方策

碁点温泉において、さらに自然環境、まちなみ、歴史、風土及び文化等の維持保全を図るため、地域住民・指定管理者・行政機関と調整のうえ、（2）の取組を継続するとともに、自然環境に配慮し調和のとれた街並みや風光明媚な自然を擁する温泉地づくりのため、看板やのぼりのデザイン性や色彩を統一していく取組を検討していく。

また、関係機関・団体と協力しながら過度な歓楽地化を防ぎ、健康増進施設を中心にした保養地として相応しい発展をしていけるよう、環境保全や健康増進に資する温泉施設等の整備を進める。

4．医学的立場から適正な温泉利用や健康管理について指導が可能な医師の配置計画又は同医師との連携のもと入浴方法等の指導ができる人材の配置計画若しくは育成方針等

（1）医師の配置状況

碁点温泉では、医学的立場から適正な温泉利用や健康管理についての指導や入浴客の体調不良に対応する医師を配置している。また、温泉利用指導者・健康運動指導士を配置しており、その氏名及び活動の状況等は、以下のとおりである。

①医師

氏名	専門分野	活動内容	配置年度
鈴木康洋	内科	温泉施設からの依頼により適正な温泉利用や健康管理についての指導を行う。鈴木内科医院において入浴客の体調不良等に対応する。	平成 2 年～

②人材

資格	人数	活動内容	配置年度
温泉利用指導者	4 名	日帰り入浴や宿泊施設において、健康増進及び疾病予防のための温泉利用を安全かつ適切に実施できるように指導する。	平成元年～
健康運動指導士	3 名	保健医療関係者と連携しつつ、安全で効果的な運動を実施するためのプログラム作成や計画の調整を行い、健康増進施設としての役割を促進する。	昭和 63 年～

※1 温泉利用指導者：温泉利用者が温泉の持つ保健的機能を応用した健康増進、疾病予防のための温泉利用を安全かつ適正に実践できるよう指導並びに医師の指示に基づき温泉療養を行う利用者に適切な援助を行うことを目的に、一般社団法人日本健康開発財団が実施する講習会を修了し認定された者。

※2 健康運動指導士：保健医療関係者と連携しつつ、個々の心身の状態に応じた安全で効果的な運動を実施するための運動プログラムの作成及び実践指導計画の調整等を行うことを目的に、公益財団法人健康・体力づくり事業財団が実施する講習会を修了し認定された者。

（2）配置計画又は育成方針

基点温泉では、（1）の医師及び人材の配置を継続する。さらに、温泉利用指導者・健康運動指導士を養成し増員するよう検討する。

5．温泉資源の保護に関する取組方針

（1）温泉資源の状況

基点温泉では、2本の源泉があり主な泉質は「ナトリウム・カルシウム-塩化物温泉」でpH7.2～7.7の弱アルカリ性を示しており、現在1軒の宿泊施設と1軒の日帰り入浴施設に利用されている。

源泉	温度（℃）	湧出量（ℓ/min）	泉質	湧出状況	利用施設
南郷2号源泉	58.5	1,000	ﾅﾄﾘｳﾑ・ｶﾙｼｳﾑ-塩化物温泉（等張性弱ｱﾙｶﾘ性高温泉）	掘削 動力揚湯	1施設
南郷3号源泉	62.2	1,000	含硫黄-ﾅﾄﾘｳﾑ・ｶﾙｼｳﾑ-塩化物温泉(等張性中性高温泉)	掘削 動力揚湯	1施設

（2）取組の状況

基点温泉における各源泉について、現在講じている保護に関する取組状況は以下のとおりである。

源泉	取組状況	実施主体	実施年度
南郷2号源泉	源泉の温度、湧出量、水位をシステムで常時観測及び記録	指定管理者	平成3年～

南郷 3 号源泉	源泉の温度、湧出量、水位をシステムで常時観測及び記録	指定管理者	平成 3 年～

（3）今後の取組方策

碁点温泉において、実施主体と調整し（2）の取組を継続する。さらに、温泉資源保護を推進するため、観測異常時対応マニュアルの整備等を検討していく。

6．温泉を衛生的に良好な状態に保つための方策

（1）温泉の利用に当たっての関係施設等の状況

碁点温泉において温泉の利用にあたって使用している設備及び温泉利用の状況は、以下のとおりである。(利用施設数には、住宅給湯 5 件分を除く)

源泉数	浴用利用施設までの設備	浴用利用施設数
2	引湯管、貯湯槽、圧送装置	2 施設

（2）取組の現状

碁点温泉において温泉利用に当たって使用している設備について、現在講じている衛生に関する取組状況は、以下のとおりである。

設備	区分	取組内容	実施主体
源泉（貯湯槽）	自主的	年 1 回、貯湯槽内の湯水を完全に排出し高圧洗浄及び塩素消毒・中和を実施。	指定管理者
引湯管（圧送）	自主的	年 1 回の定期点検を実施し、スケール除去のためのクリーニングを状況に応じて実施。	指定管理者
引湯管（供給）	自主的	年 4 回、塩素消毒・中和を行い、年 1 回の高圧洗浄を実施。	指定管理者
貯湯槽	自主的	年 4 回、貯湯槽内の湯水を完全に排出し高圧洗浄及び塩素消毒・中和を実施。	指定管理者
浴槽	自主的	浴槽水を毎日（循環ろ過装置を設置している浴槽は 2 日に 1 回）完全に排出し清掃を実施。	指定管理者
	自主的	浴槽水は、常に満杯状態を保ち、かつ、源泉又はろ過した湯水を十分に供給し清浄を保つ。	指定管理者

（３）今後の取組方策

碁点温泉において、さらに温泉を衛生的かつ良好に保つために、実施主体と調整のうえ（２）の取組を継続するとともに、温泉の衛生面に関する講習会等へ積極的に参加し適切な衛生管理に反映させる。

７．温泉地の特性を活かした温泉の公共的利用増進に関する方策

（１）温泉の公共的利用の状況

碁点温泉は、昭和 57 年にオープンしたクアハウス碁点を中心に、自然環境に配慮した遊歩道や運動設備等の整備を行い、温泉を活用した先進的な療養・保養・健康増進を目指す温泉地として多くの利用客が訪れた。また、平成 25 年 5 月には大浴場の全面改装及び露天風呂等を増設したため、改装直後から日帰り入浴客が増加傾向にある。近年の碁点温泉における温泉利用の状況は、以下のとおりである。

①過去 3 年間の温泉利用者数

年度	宿泊人数	日帰り人数	合計
平成 27 年度	21,408 人	258,430 人	279,838 人
平成 26 年度	23,025 人	247,354 人	270,379 人
平成 25 年度	21,923 人	247,619 人	269,542 人

②直近 1 年間（平成 27 年度）の温泉の利用者数

区分	施設数（施設）	総定員（人）	利用者数（人）				
			4 月	5 月	6 月	7 月	8 月
宿泊	1	144	1,448	1,497	1,972	1,812	2,095
日帰り	1		15,001	19,152	27,532	19,644	25,545
合計	2	144	16,449	20,649	29,504	21,456	27,640

9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
2,010	2,345	1,773	1,877	1,475	1,589	1,515	21,408
18,707	16,679	17,858	17,734	22,254	18,979	39,345	258,430
20,717	19,024	19,631	19,611	23,729	20,568	40,860	279,838

（2）取組の状況

碁点温泉において、温泉の公共的利用の増進を図るため、現在行っている取組の状況は、以下のとおりである。

取組	実施主体
・碁点温泉案内パンフレットを作成し、道の駅や観光案内所でＰＲ。 ・ホームページを作成しインターネットでの情報発信。 ・碁点温泉地内の温泉設備や周辺道路の保守、修繕。 ・周辺で開催される居合道大会やマラソン大会等のイベントとのタイアップを図る。 ・地域住民と共同で、道路植込みや遊休地などの植栽・環境美化活動の実施。	指定管理者 村山市 山形県 地域住民

（3）今後の取組方針

碁点温泉において、さらに温泉の公共的利用の増進を図るため、温泉の適正な利用を進めるとともに、環境の保全、環境配慮に努めながら、さらなる健康増進の場として機能していける温泉地を目指し、実施主体と調整のうえ（2）の取組を継続するとともに、以下の取組を進める。

取組	実施主体
・温泉利用指導者、健康運動指導士等を増員し、温泉利用者に安全で適切な利用を指導していく。 ・地域住民で組織する健康増進クラブや歩こう会等の団体と連携し、健康増進企画作成や利用促進を図る。 ・碁点温泉の効用を分かりやすく周知し温泉地の魅力をＰＲする。 ・交通安全施策やアクセス道路の整備を進める。	指定管理者 山形県 村山市 地域住民

8．高齢者、障害者等に配慮したまちづくりに関する計画

（1）公共の用に供する施設の状況

碁点温泉における公共の用に供する施設の状況は、以下のとおりである。

区分	施設
公有施設	道路（県道 294 号線、市道碁点大槇水口線等）、遊歩道、村山市体育館、ゲートボール場、テニスコート、竜神の吊り橋、農村文化保存伝承館、展望施設、グラウンドゴルフ場

私有施設	物販施設（2 施設)、飲食施設（8 施設)、理美容施設（2 施設)、ガソリンスタンド、神社

（2）取組の状況

碁点温泉において、高齢者、障がい者等に配慮した地域づくりのため、現在行っている取組の状況は、以下のとおりである。

区分	施設	取組	実施主体
公有施設	道路	温泉地内の県道 294 号線、市道碁点大槇水口線等について道路の修繕及び保守管理	山形県 村山市
	建築物	宿泊施設において入口及び温泉までの通路にスロープを整備、障がい者用の多目的トイレを設置	指定管理者
私有施設	建築物	施設において、入口等のスロープ整備の推進	施設所有者

（3）今後の取組方策

碁点温泉において、さらに高齢者、障がい者等に配慮した地域づくりを図るため、実施主体と調整のうえ、（2）の取組を継続するとともに、以下の取組を進める。

区分	施設	取組	実施主体
公有施設	道路	私有施設所有者等と協力しつつ、幹線道路の清掃管理等の環境整備を進める。 冬期間でも安全に交通できるよう除雪作業の適正な実施を促す。	山形県 村山市 地域住民
	建築物	館内のバリアフリー化を進め利用しやすい施設を目指す。	村山市

9．災害防止対策に係る計画及び措置

（1）温泉地の地勢及び災害の発生状況

碁点温泉は、東に奥羽山脈、西を出羽丘陵に囲まれ、最上川が温泉地の東側を北流している。河川の周辺ということもあり、対岸にある河島山が土砂災害警戒区域指定となっている。また、温泉地の東に 2 ㎞の地点は南北に山形盆地断層帯が伸びており、この活断層を震源とする地震が発生した場合、最大で震度 6 強の揺れが懸念されている。さらに、最上川は、水量豊かな一級河川であり、台風や集中豪雨により一部河川が氾濫し低い土地へ浸水する懸念がある。

（２）計画及び措置の現状

碁点温泉において、現在災害防止に関し作成されている計画及び講じられている措置は、以下のとおりである。

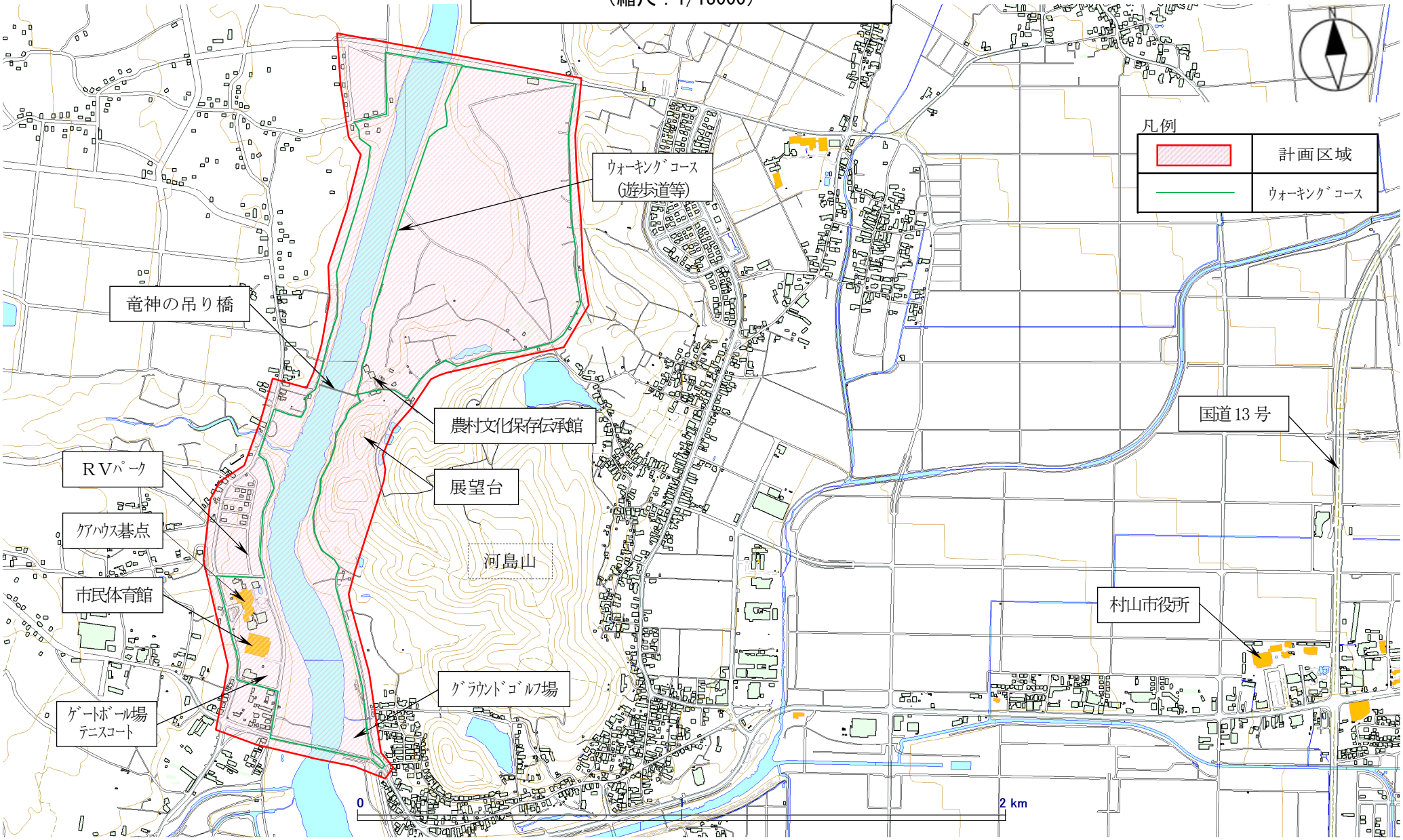
計画又は措置	計画又は措置の概要
村山市地域防災計画	温泉地内について、地域防災計画に基づき防災対策を推進する。碁点温泉区域の避難場所として東原公民館が指定されている。
最上川水系最上川上流浸水想定区域指定	水防法第 10 条の 4 第 1 項に基づき最上川水系最上川上流浸水想定区域に、碁点温泉地内が指定されている。
山形県水防計画	水防法第 7 条 1 項に基づき水防事務の調整及び円滑な実施のため計画を定め、碁点温泉地内が洪水予報河川域に指定されている。

（３）今後の取組方策

碁点温泉において、さらに災害の防止を図るため、実施主体と調整のうえ、（２）の計画及び措置に基づく取組を継続するとともに、以下の取組を進める。

取組	実施主体
温泉施設利用者等に対する避難場所の周知や自主的な防災避難誘導訓練等を実施する。	指定管理者
村山市地域防災計画に基づき、温泉地内施設及び地域住民が連携し自主防災体制の充実を図っていく。	村山市 指定管理者 地域住民

国土地理院地図（電子 Web より）

碁点温泉国民保養温泉地区域図

（縮尺：1/13000）